※令和４年度以降入学生用

学校番号	2102

令和５年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅰα	単位数	２単位	年次	全年次
使用教科書	「最新　数学Ⅰ」　（数研出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする活動を行います。

2　学習の到達目標

・図形と計量、２次関数及び集合と命題について、概念を理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図ることを目標とする。
・図形と計量、２次関数及び集合と命題について、事象を数学的に考察する能力を培うことを目標とする。
・図形と計量、２次関数及び集合と命題について、数学のよさを認識し、習得した知識、習熟した技能、事象を数学的に考察する能力等を活用する態度を育てることを目標とする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学的活動を通して、２次関数や図形の計量といった内容において問題の解法をしっかり学び、それらを用いて様々な事象に活用することができる。	数学的活動を通して、２次関数や図形の計量といった内容において問題の解法をしっかり学び、どの問題についてどの公式を使用して解答していけばいいのかを判断し、解答に導く。	数学的活動を通して、２次関数や図形の計量といった内容において問題の解法をしっかり学び、様々な問題に意欲的に取り組むことができている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、期末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前・後期 前半	２次関数	1節　関数とグラフ 関数 ２次関数とそのグラフ ２次関数の最大・最小 ２次関数の決定	a:頂点の座標を理解する b:平方完成ができる c:様々な２次関数の種類を把握する	プリント 小テスト	プリント 小テスト	授業態度
		2節　2次方程式･2次不等式 2次方程式の解法 2次方程式の実数解の個数 2次関数のグラフと x 軸の共有点 2次不等式 2次不等式の応用	a:関数と方程式の繋がりを理解する b:与えられた条件から関数を特定する c:様々な問題に意欲的に取り組む	プリント 小テスト	プリント 小テスト	授業態度
前・後期 後半	図形と計量	1節　鋭角の三角比 直角三角形と三角比 三角比の相互関係	a:三角比を認識する b:三平方の定理を使って辺の長さを求める c:様々な直角三角形について対応する	プリント 小テスト	プリント 小テスト	授業態度
		2節　三角比の拡張 三角比と座標 三角比の性質	a:三角形と単位円を連動させる b:単位円に三平方の定理をあてはめ問題を解く c:様々な問題に意欲的に取り組む	プリント 小テスト	プリント 小テスト	授業態度
		3節　三角形の応用 正弦定理 余弦定理 三角形の面積 空間図形の応用	a:辺と角をもとめる b:正弦定理と余弦定理を使い分ける c:様々な図形に対応する	プリント 小テスト	プリント 小テスト	授業態度
	集合と命題	1節　集合 集合	a:集合の意味を理解する b:集合と要素の関係性を認識する c:解答方法を確認する	プリント 小テスト	プリント 小テスト	授業態度
		2節　命題と論証 命題と条件 論証	a:文章を理解する b:真偽と反例の使い方を理解する c:１つ１つの命題をしっかり考える	プリント 小テスト	プリント 小テスト	授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度